

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正
Ⅲ-2-⑥-5	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 ⑥-2 機械土工（河床等掘削）(ICT) 1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、バックホウ（ICT施工対応型）により施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 河床等掘削 （1）3D-MG又はMCバックホウによる川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積み込み （2）最大掘削深さが6.5m以下の場合 1-1-2 軟弱土等運搬 （1）川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去し、水切りした後の運搬 2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。 （注）1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 3. 施工パッケージ 3-1 河床等掘削 （1）条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 （注）河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積み込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含み、クレーン作業は含まない。 Ⅲ-2-⑦-5	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 ⑥-2 機械土工（河床等掘削）(ICT) 1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、バックホウ（ICT施工対応型）により施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 河床等掘削 （1）3D-MG又はMCバックホウによる川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積み込み （2）最大掘削深さが6.5m以下の場合 1-1-2 軟弱土等運搬 （1）川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去し、水切りした後の運搬 2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。 （注）1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。 3. 施工パッケージ 3-1 河床等掘削 （1）条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 （注）河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積み込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含み、クレーン作業は含まない。 項番の修正 Ⅲ-2-⑥-5

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正																																																																																											
Ⅲ-2-⑥-6	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 1 河床等掘削(ⅠCT) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>ⅠCT建設機械経費賃料加算額</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 パトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> （注）ⅠCT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ⅠCT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	賃料	K 2	ⅠCT建設機械経費賃料加算額	賃料	K 3	—		K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 1 河床等掘削(ⅠCT) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>ⅠCT建設機械経費賃料加算額</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 パトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> （注）ⅠCT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ⅠCT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	賃料	K 2	ⅠCT建設機械経費賃料加算額	賃料	K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																										
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	賃料																																																																																										
	K 2	ⅠCT建設機械経費賃料加算額	賃料																																																																																										
	K 3	—																																																																																											
	K 3	—																																																																																											
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																											
	R 2	—																																																																																											
	R 3	—																																																																																											
	R 4	—																																																																																											
材料	Z 1	軽油 パトロール給油																																																																																											
	Z 2	—																																																																																											
	Z 3	—																																																																																											
	Z 4	—																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																											
項目		代表機労材規格	備考																																																																																										
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ⅠCT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	賃料																																																																																										
	K 2	ⅠCT建設機械経費賃料加算額	賃料																																																																																										
	K 3	—																																																																																											
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																											
	R 2	—																																																																																											
	R 3	—																																																																																											
	R 4	—																																																																																											
材料	Z 1	軽油 パトロール給油																																																																																											
	Z 2	—																																																																																											
	Z 3	—																																																																																											
	Z 4	—																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																											
		項番の修正 Ⅲ-2-⑥-6																																																																																											

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正																																																																						
Ⅲ-2-⑥-7	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 3－2 軟弱土等運搬（ⅠＣＴ） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>DID 区間の有無</th><th>運搬距離</th></tr><tr><td rowspan="15">無し</td><td>0.2km 以下</td></tr><tr><td>0.5km 以下</td></tr><tr><td>0.8km 以下</td></tr><tr><td>1.1km 以下</td></tr><tr><td>1.5km 以下</td></tr><tr><td>2.0km 以下</td></tr><tr><td>2.6km 以下</td></tr><tr><td>3.3km 以下</td></tr><tr><td>4.2km 以下</td></tr><tr><td>5.5km 以下</td></tr><tr><td>7.3km 以下</td></tr><tr><td>9.7km 以下</td></tr><tr><td>13.8km 以下</td></tr><tr><td>22.0km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr><tr><td rowspan="16">有り</td><td>0.2km 以下</td></tr><tr><td>0.4km 以下</td></tr><tr><td>0.7km 以下</td></tr><tr><td>1.0km 以下</td></tr><tr><td>1.4km 以下</td></tr><tr><td>1.9km 以下</td></tr><tr><td>2.5km 以下</td></tr><tr><td>3.1km 以下</td></tr><tr><td>4.0km 以下</td></tr><tr><td>5.2km 以下</td></tr><tr><td>6.7km 以下</td></tr><tr><td>9.0km 以下</td></tr><tr><td>12.6km 以下</td></tr><tr><td>19.5km 以下</td></tr><tr><td>39.0km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr></table> （注） 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 5. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 現場条件により表3. 3で想定する機械により難しい場合は、別途考慮する。 Ⅲ 2 ⑦ 7	DID 区間の有無	運搬距離	無し	0.2km 以下	0.5km 以下	0.8km 以下	1.1km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.6km 以下	3.3km 以下	4.2km 以下	5.5km 以下	7.3km 以下	9.7km 以下	13.8km 以下	22.0km 以下	60.0km 以下	有り	0.2km 以下	0.4km 以下	0.7km 以下	1.0km 以下	1.4km 以下	1.9km 以下	2.5km 以下	3.1km 以下	4.0km 以下	5.2km 以下	6.7km 以下	9.0km 以下	12.6km 以下	19.5km 以下	39.0km 以下	60.0km 以下	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 3－2 軟弱土等運搬（ⅠＣＴ） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>DID 区間の有無</th><th>運搬距離</th></tr><tr><td rowspan="15">無し</td><td>0.2km 以下</td></tr><tr><td>0.5km 以下</td></tr><tr><td>0.8km 以下</td></tr><tr><td>1.1km 以下</td></tr><tr><td>1.5km 以下</td></tr><tr><td>2.0km 以下</td></tr><tr><td>2.6km 以下</td></tr><tr><td>3.3km 以下</td></tr><tr><td>4.2km 以下</td></tr><tr><td>5.5km 以下</td></tr><tr><td>7.3km 以下</td></tr><tr><td>9.7km 以下</td></tr><tr><td>13.8km 以下</td></tr><tr><td>22.0km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr><tr><td rowspan="16">有り</td><td>0.2km 以下</td></tr><tr><td>0.4km 以下</td></tr><tr><td>0.7km 以下</td></tr><tr><td>1.0km 以下</td></tr><tr><td>1.4km 以下</td></tr><tr><td>1.9km 以下</td></tr><tr><td>2.5km 以下</td></tr><tr><td>3.1km 以下</td></tr><tr><td>4.0km 以下</td></tr><tr><td>5.2km 以下</td></tr><tr><td>6.7km 以下</td></tr><tr><td>9.0km 以下</td></tr><tr><td>12.6km 以下</td></tr><tr><td>19.5km 以下</td></tr><tr><td>39.0km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr></table> （注） 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 5. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 現場条件により表3. 3で想定する機械により難しい場合は、別途考慮する。 項番の修正 Ⅲ-2-⑥-7	DID 区間の有無	運搬距離	無し	0.2km 以下	0.5km 以下	0.8km 以下	1.1km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.6km 以下	3.3km 以下	4.2km 以下	5.5km 以下	7.3km 以下	9.7km 以下	13.8km 以下	22.0km 以下	60.0km 以下	有り	0.2km 以下	0.4km 以下	0.7km 以下	1.0km 以下	1.4km 以下	1.9km 以下	2.5km 以下	3.1km 以下	4.0km 以下	5.2km 以下	6.7km 以下	9.0km 以下	12.6km 以下	19.5km 以下	39.0km 以下	60.0km 以下
DID 区間の有無	運搬距離																																																																							
無し	0.2km 以下																																																																							
	0.5km 以下																																																																							
	0.8km 以下																																																																							
	1.1km 以下																																																																							
	1.5km 以下																																																																							
	2.0km 以下																																																																							
	2.6km 以下																																																																							
	3.3km 以下																																																																							
	4.2km 以下																																																																							
	5.5km 以下																																																																							
	7.3km 以下																																																																							
	9.7km 以下																																																																							
	13.8km 以下																																																																							
	22.0km 以下																																																																							
	60.0km 以下																																																																							
有り	0.2km 以下																																																																							
	0.4km 以下																																																																							
	0.7km 以下																																																																							
	1.0km 以下																																																																							
	1.4km 以下																																																																							
	1.9km 以下																																																																							
	2.5km 以下																																																																							
	3.1km 以下																																																																							
	4.0km 以下																																																																							
	5.2km 以下																																																																							
	6.7km 以下																																																																							
	9.0km 以下																																																																							
	12.6km 以下																																																																							
	19.5km 以下																																																																							
	39.0km 以下																																																																							
	60.0km 以下																																																																							
DID 区間の有無	運搬距離																																																																							
無し	0.2km 以下																																																																							
	0.5km 以下																																																																							
	0.8km 以下																																																																							
	1.1km 以下																																																																							
	1.5km 以下																																																																							
	2.0km 以下																																																																							
	2.6km 以下																																																																							
	3.3km 以下																																																																							
	4.2km 以下																																																																							
	5.5km 以下																																																																							
	7.3km 以下																																																																							
	9.7km 以下																																																																							
	13.8km 以下																																																																							
	22.0km 以下																																																																							
	60.0km 以下																																																																							
有り	0.2km 以下																																																																							
	0.4km 以下																																																																							
	0.7km 以下																																																																							
	1.0km 以下																																																																							
	1.4km 以下																																																																							
	1.9km 以下																																																																							
	2.5km 以下																																																																							
	3.1km 以下																																																																							
	4.0km 以下																																																																							
	5.2km 以下																																																																							
	6.7km 以下																																																																							
	9.0km 以下																																																																							
	12.6km 以下																																																																							
	19.5km 以下																																																																							
	39.0km 以下																																																																							
	60.0km 以下																																																																							

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正																																																																																								
Ⅲ-2-⑥-8	令和 8 年 7 月 1 日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和 8 年度	令和 8 年 7 月 1 日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和 8 年度																																																																																								
	（2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。	（2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。																																																																																								
	表3. 3 軟弱土等運搬(ⅠCT) 代表機労材規格一覧	表3. 3 軟弱土等運搬(ⅠCT) 代表機労材規格一覧																																																																																								
	<table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手（一般）</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手（一般）		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手（一般）</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手（一般）		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
	項目		代表機労材規格	備考																																																																																						
	機械	K 1	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む																																																																																						
		K 2	—																																																																																							
		K 3	—																																																																																							
	労務	R 1	運転手（一般）																																																																																							
		R 2	—																																																																																							
R 3		—																																																																																								
R 4		—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目		代表機労材規格	備考																																																																																							
機械	K 1	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 （良好）を含む																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	運転手（一般）																																																																																								
	R 2	—																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
4. ⅠCT建設機械経費加算額	4. ⅠCT建設機械経費加算額																																																																																									
4－1 ⅠCT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 （1）ⅠCT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ⅠCT施工対応型）） 13,000 円／供用日	4－1 ⅠCT建設機械経費賃料加算額 地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 （1）ⅠCT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ⅠCT施工対応型）） 13,000 円／供用日																																																																																									
5. その他ⅠCT建設機械経費等	5. その他ⅠCT建設機械経費等																																																																																									
5－1 システム初期費 賃貸業者が行う、ⅠCT建設機械による施工を実施するための現場通信精度確認、ローカライゼーション、ⅠCT建設機械精度確認等、ⅠCT建設機械による施工を行うための必要な初期設定に係る費用及び施工業者への取扱説明に要する費用等、貸出しに要する全ての費用として、以下の費用を共通仮設費の技術管理費に計上する。 （1）機械土工（河床等掘削）（ⅠCT） 対象機械：バックホウ 598,000 円／式 ※1 工事当り使用機種毎に一式計上を原則とするが、受注者の責によらず、連続作業でⅠCT建設機械による施工が出来ない場合等については、監督職員と協議のうえ複数計上できるものとする。	5－1 システム初期費 賃貸業者が行う、ⅠCT建設機械による施工を実施するための現場通信精度確認、ローカライゼーション、ⅠCT建設機械精度確認等、ⅠCT建設機械による施工を行うための必要な初期設定に係る費用及び施工業者への取扱説明に要する費用等、貸出しに要する全ての費用として、以下の費用を共通仮設費の技術管理費に計上する。 （1）機械土工（河床等掘削）（ⅠCT） 対象機械：バックホウ 598,000 円／式 ※1 工事当り使用機種毎に一式計上を原則とするが、受注者の責によらず、連続作業でⅠCT建設機械による施工が出来ない場合等については、監督職員と協議のうえ複数計上できるものとする。																																																																																									
5－2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成（修正含む）を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 費用の計上について、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とし、受注者から見積の提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。 また、前工事及び設計段階での3次元データを活用した場合、発注者が貸与する3次元データを活用した場合は、費用計上しないものとする。 なお、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」については、当初設計では計上しない。	5－2 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成（修正含む）を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積上げるものとする。 費用の計上について、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とし、受注者から見積の提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。 また、前工事及び設計段階での3次元データを活用した場合、発注者が貸与する3次元データを活用した場合は、費用計上しないものとする。 なお、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」については、当初設計では計上しない。																																																																																									
5－3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 出来形管理の計測範囲において、1 m間隔以下（1 点/m2 以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）を実施し、3次元データ納品を行った場合の費用の計上方法については、以下のとおりである。	5－3 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 出来形管理の計測範囲において、1 m間隔以下（1 点/m2 以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）を実施し、3次元データ納品を行った場合の費用の計上方法については、以下のとおりである。																																																																																									
Ⅲ 2 ⑦ 8	項番の修正 Ⅲ-2-⑥-8																																																																																									

項番の修正

Ⅲ-2-⑥-8

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正																																												
Ⅲ-2-⑥-9	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 1）補正係数を乗じて算出される金額を計上する場合 補正係数を乗じて算出される金額＜受注者からの見積による金額 2）受注者からの見積による金額を計上する場合 補正係数を乗じて算出される金額＞受注者からの見積による金額 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の出来形管理とし、ⅠＣＴ活用工事（土工）実施要領に示された、ⅠＣＴ建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 ・音響測深機器を用いた出来形管理 また、受注者から見積の提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 なお、「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初設計では計上しない。 6. 施工単価入力基準表 （1）河床等掘削（ⅠＣＴ） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB321430</td><td>施工単位</td><td>m3</td></tr></table> （注）上表の土量は、地山土量である。 （2）システム初期費（ⅠＣＴ） 「第Ⅰ編第2章②間接工事費 2－7 技術管理費」（WB010510）により計上すること。 （3）3次元起工測量・3次元設計データの作成費用（ⅠＣＴ） 「第Ⅰ編第2章②間接工事費 2－7 技術管理費」（WB010610）により計上すること。 （4）軟弱土等運搬（ⅠＣＴ） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB321440</td><td>施工単位</td><td>m3</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2～3</td></tr><tr><td>DID区間の有無</td><td colspan="2">運搬距離</td></tr><tr><td>①無し ②有り</td><td colspan="2">（表6.1）</td></tr></table> （注）上表の土量は、地山土量である。 Ⅲ 2 ⑦ 9	パッケージコード	CB321430	施工単位	m3	パッケージコード	CB321440	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2～3		DID区間の有無	運搬距離		①無し ②有り	（表6.1）		令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅰ〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度 1）補正係数を乗じて算出される金額を計上する場合 補正係数を乗じて算出される金額＜受注者からの見積による金額 2）受注者からの見積による金額を計上する場合 補正係数を乗じて算出される金額＞受注者からの見積による金額 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理費率補正係数：1.1 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の出来形管理とし、ⅠＣＴ活用工事（土工）実施要領に示された、ⅠＣＴ建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。 ・音響測深機器を用いた出来形管理 また、受注者から見積の提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 なお、「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初設計では計上しない。 6. 施工単価入力基準表 （1）河床等掘削（ⅠＣＴ） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB321430</td><td>施工単位</td><td>m3</td></tr></table> （注）上表の土量は、地山土量である。 （2）システム初期費（ⅠＣＴ） 「第Ⅰ編第2章②間接工事費 2－7 技術管理費」（WB010510）により計上すること。 （3）3次元起工測量・3次元設計データの作成費用（ⅠＣＴ） 「第Ⅰ編第2章②間接工事費 2－7 技術管理費」（WB010610）により計上すること。 （4）軟弱土等運搬（ⅠＣＴ） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB321440</td><td>施工単位</td><td>m3</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2～3</td></tr><tr><td>DID区間の有無</td><td colspan="2">運搬距離</td></tr><tr><td>①無し ②有り</td><td colspan="2">（表6.1）</td></tr></table> （注）上表の土量は、地山土量である。 項番の修正 Ⅲ-2-⑥-9	パッケージコード	CB321430	施工単位	m3	パッケージコード	CB321440	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2～3		DID区間の有無	運搬距離		①無し ②有り	（表6.1）	
パッケージコード	CB321430	施工単位	m3																																											
パッケージコード	CB321440	施工単位	m3																																											
施工区分	入 力 条 件																																													
各 種	J 1	J 2～3																																												
	DID区間の有無	運搬距離																																												
	①無し ②有り	（表6.1）																																												
パッケージコード	CB321430	施工単位	m3																																											
パッケージコード	CB321440	施工単位	m3																																											
施工区分	入 力 条 件																																													
各 種	J 1	J 2～3																																												
	DID区間の有無	運搬距離																																												
	①無し ②有り	（表6.1）																																												

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 正誤表

頁	誤	正
Ⅲ-2-⑥-10	令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度	
	表6.1 運搬距離(ICT)	
	積込機種・規格 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）〕 バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t	
	J 2（DID 区間：無し）	
	運搬距離(km) 0.2 0.5 0.8 1.1 1.5 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ① ② ③ ④ ⑤	
	運搬距離(km) 2.0 2.6 3.3 4.2 5.5 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	
	運搬距離(km) 7.3 9.7 13.8 22.0 60.0 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	
	J 3（DID 区間：有り）	
	運搬距離(km) 0.2 0.4 0.7 1.0 1.4 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ① ② ③ ④ ⑤	
	運搬距離(km) 1.9 2.5 3.1 4.0 5.2 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	
	運搬距離(km) 6.7 9.0 12.6 19.5 39.0 以下 以下 以下 以下 以下	
	入力番号 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	
	運搬距離(km) 60.0 以下	
	入力番号 ⑯	
	(注) 運搬距離は片道であり，往路と復路が異なるときは平均値とする。	
Ⅲ 2 ⑦ 10		令和8年7月1日 土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔I〕 土木工事標準積算基準書（河川編） 令和8年度
		表6.1 運搬距離(ICT)
		積込機種・規格 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）〕 バケット容量 0.8m ³ 吊能力 2.9t
		J 2（DID 区間：無し）
		運搬距離(km) 0.2 0.5 0.8 1.1 1.5 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ① ② ③ ④ ⑤
		運搬距離(km) 2.0 2.6 3.3 4.2 5.5 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
		運搬距離(km) 7.3 9.7 13.8 22.0 60.0 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
		J 3（DID 区間：有り）
		運搬距離(km) 0.2 0.4 0.7 1.0 1.4 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ① ② ③ ④ ⑤
		運搬距離(km) 1.9 2.5 3.1 4.0 5.2 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
		運搬距離(km) 6.7 9.0 12.6 19.5 39.0 以下 以下 以下 以下 以下
		入力番号 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
		運搬距離(km) 60.0 以下
		入力番号 ⑯
		(注) 運搬距離は片道であり，往路と復路が異なるときは平均値とする。
		項番の修正
		Ⅲ-2-⑥-10